



(画像) https://gooddo.jp/magazine/sustainable-consumption-production/food_loss/

▼ 目次【VOL.143】

- 2-3 食品ロス問題
- 4-5 FUNN総会報告
- 6 九州地域NGO活動助成金
- 7 正会員団体活動レポート
- 8 NGO相談員受託

食品ロスとは

経済の発展とともに増加した食品廃棄物。その中でも、特に売れ残りや保管状況の問題から一口も食べられないまま廃棄される、あるいは食べ残しとして捨てられる食品のことを「食品ロス」といいます。

食品ロスの何が問題？

世界では、飢餓による問題が深刻になっています。貧困や紛争など様々な要因で食糧が得られず、栄養不良などを起こしている人がたくさんいます。その一方で、生産された食糧を消費しきれず廃棄せざるを得ない食品ロスも国や地域によっては起こっており、問題視されています。食品ロスは日本を始め、世界の先進国や途上国でも起こる問題であり、飢餓と同様に解決のため様々な取り組みが必要とされています。食品ロスの世界における現状、日本における課題など、皆さんがこの問題に関心を持つきっかけになれば幸いです。

世界中で深刻な食品ロスとその現状について

世界には77億人が生活していますが、国連の統計によると、**2020年時点で世界の人口の10人に1人である約8億1,100万人が飢えに苦しんでいます**。途上国や、農業が主となる国で多く見られ、食糧不足により飢餓に陥っています。その一方、先進国では毎年多くの食糧が生産されていますが、すべて消費されるわけではなく余ったものは廃棄されることが多いです。このように、途上国では貧困や気候変動・紛争など様々な理由で食糧が不足する食の不均衡が起きる一方、先進国では過剰に生産され余ってしまった食糧が廃棄される食品ロスが起きています。実際、世界では毎年40億トンの食糧が生産されており、これは全人口の食を賄うには十分な量です。しかし、**40億トンのうち13億トンが廃棄(FAO,2011)、実際には農場での食品ロスを含めると25億トンともいわれています(WWF,2021)**。廃棄処分のため排出される温室効果ガスは36億トンとされ、食品ロスが世界の飢餓や貧困に与える影響、気候変動など環境破壊につながる懸念されています。

先進国と途上国で発生する食品ロスの違い

先進国での食品ロスが起こる原因は様々です。まず、生産段階で需要を越える量を生産してしまう過剰生産です。しかし、農業である以上凶作になる可能性も考えると量の調整は難しいです。また、生産段階よりも**加工段階や流通・消費段階で食品ロスが多く発生**と言われています。加工段階で生鮮食品に対して外観品質基準という厳しい基準が設けられているため、これに適さない場合は廃棄につながります。本来であればフードバンクへ寄付すべきですが、コストがかかるため廃棄した方が安く済むというのも要因の一つです。小売り段階では、大量陳列と幅広い品数によりど

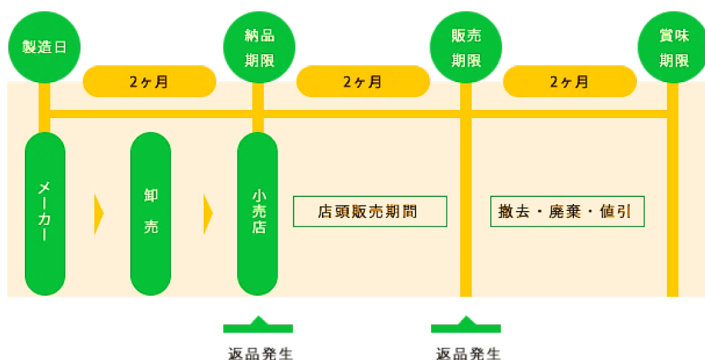
うしても消費されない食品があり、それらは廃棄されます。更に、購入されたとしても、無計画に購入する・簡単に捨てる余裕があることから消費者は食品を余らせ廃棄してしまうこともあります。一方、途上国での食品ロスは**生産や加工段階での廃棄が圧倒的に多い**とされています。収穫技術の問題で生産しても収穫しきれず腐って廃棄することになったり、保存設備や加工設備が不足していることから貯蔵や加工できず廃棄しなければならないものも出てきます。また、輸送手段が整備されていないことで、生産しても過剰となりこれも廃棄の原因となります。流通段階での廃棄も起こります。非衛生的な店舗であることから食品がもたないこと、マーケティングシステムが不十分で必要な場所に必要な量の食品が行き渡らず、その分が余り食品ロスとなってしまいます。

日本における商習慣“3分の1ルール”とは

世界での食品ロスも大きな問題ですが、日本国内でも相当量の食品ロスが生まれています。農水省の推計値(2021年度)によると、**2019年度日本の食品ロスは食品関連事業者から309万トン、家庭から261万トン、合わせて570万トン**。意識されるようになり減少してはいますが、国連世界食糧計画(WFP)の食糧援助量は同年420万トンであることを考えると、日本だけで1.4倍程の量を廃棄していることとなります。なぜ日本ではこれほど食品ロスが発生してしまうのでしょうか。それには、**日本の食品業界における3分の1ルールという商習慣**が関わっています。3分の1ルールとは、製造されてから賞味期限に至るまでの品質保持期間を3分割して計算し、それぞれの期限を過ぎると廃棄扱いになるという商習慣です。製造元から小売店に商品が届くまでの「納品期限」、小売店から消費者の手に渡るまでの「販売期限」、最後は消費者が食べる期間として「賞味期限」が

設定されています。このルールは、なるべく鮮度の良い食品を消費者の手に届けたいという目的で設けられましたが、近年はこのルールが**期限に合理的根拠はなく、食品や資源のムダにつながる**という理由から少しずつ改善に向けて動きがあります。しかし、このルール見直しは「こんなに賞味期限が近い商品を販売しているの?」といったイメージダウンが懸念されるため容易ではありません。この懸念の根幹は、消費者の期限に対する意識から来るもので、やはり私たち消費者が正しい知識を持って「もったいない」「まだ捨てるべきではない」と自ら商品を評価・判断していき、意識改革をしていくことが食品ロスを減らす一番大きな力となります。

▼「3分の1ルール」のイメージ
※仮に賞味期限6ヶ月の食品の場合



<https://www.mottainai-shokuhin-center.org/now/>

飢餓や食品ロス削減に取り組む団体紹介

これまで見てきたように、食品ロスが発生する背景には、先進国・途上国それぞれの社会構造の問題が存在します。また、私たち消費者も食品ロスに関する正しい知識を持ち、これまでの行動を改めることも必要です。これらの問題解決は簡単にはいきませんが、最後に、実際に飢餓や食品ロス削減に取り組んでいるNGO/NPO団体を紹介します。

◎特定非営利活動法人 ハンガーフリーワールド

飢餓のない世界を目指して活動する国際協力NGOです。日本に本部を置き、バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ウガンダで活動しています。地域開発、アドボカシー、啓発活動、青少年育成の4つの活動を包括的に行うことで、現地の人々が自らの手で栄養ある食べ物を持続して得られるよう、地域の生活全般の向上を支援しています。ホームページでは、『食べ物を捨てる私たち~どうしたらムダをなくせるの?~』という食品ロスに関する連続コラムも掲載しています。

◎NPO法人 日本フードバンクシステム

フードバンクを活用し、必要な人に食品を届ける支援を行うNPO法人です。フードバンクとは、本来捨てられてしまう運命の食品を小売業者などから寄付として集め、必要としている人々に届ける組織のことです。寄付される食品は、賞味期限が近いものや、包装の印刷ミス、イベント用の食品の余り、規格外サイズの野菜などの、食品としての品質には全く問題のないものです。このような寄付された食品を、児童養護施設や障害者福祉施設、困窮している世帯等にお届けしています。

◎特定非営利活動法人 ISAPH (アイサップ) F4NN

ラオス・マラウイの農村部にて保健医療協力を実施する団体として、母子保健・栄養改善に関する活動を行うNPO法人です。NGO福岡ネットワークの加盟団体の一つです。イベントや出張講座の際には、活動地域で一般的に食べられている食事の「フードモデル」を使い、実際の量や見た目に加え、活動地での栄養問題の説明等も行っています。

【参考資料】

13歳からの環境問題「気候正義」の声を上げ始めた若者たち (かもがわ出版)
https://gooddo.jp/magazine/sustainable-consumption-production/food_loss/
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201303/4.html>
<https://www.mottainai-shokuhin-center.org/now/>
<https://www.hungerfree.net/>
<https://japan-foodbank.jp/>
<https://isaph.jp/>



2022年度NGO福岡ネットワーク通常総会実施報告

FUNN総会を終えて

事務局長 安村

昨年より事務局を預かり、新しい体制でなんと
か1年経ちました。振り返れば、一昨年から続
くコロナ禍と、冬場にはロシアのウクライナ侵
攻と、世界の状況もそしてNGOを取り巻く状況
も大きく揺れた年だったかと思えます。

その中でも、コロナで中止していた大学生への
合同説明会など再開できたものもありましたし、
オンラインにはなりましたが、NGOカレッジは
「平和」というタイムリーな課題について参加
者と一緒に頭を悩ませました。大きな課題で十
分とは言えませんが、若いボランティアの参加
が得られたことは一つの成果かと思えます。全
国のNGO間でも、地域ネットワークの集いを再
開するなど、オンラインのおかげでできるよう
になったこともありました。

懸案だったFUNNの今後の方針について、理事
の皆様にご時間をとっていただき、一定の形
『明日のFUNNプロジェクト』にまとめられま
した。まだまだ進みながら練り上げていきたく
いと思いますが、迷ったと時に参照できるベー
スがあったことはよかったです。

今年はこの中で、①「加盟団体支援」として
ニーズに応じた研修等の実施、②市民向け団体
紹介の機会創出、③企業等との連携検討に取り
組みたいと考えています。皆様といろいろな面
で協働できればと思いますので、どうぞ今年も
よろしくお願いいたします。

総会后団体懇親会について

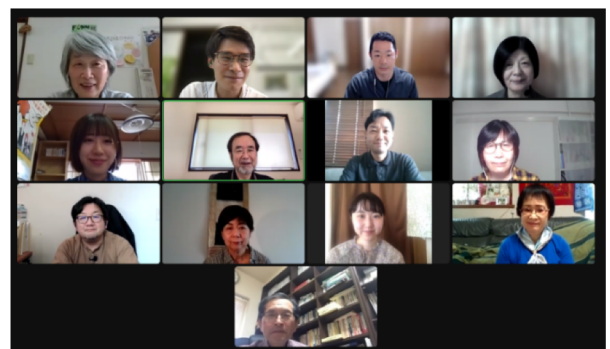
事務局スタッフ 小原

総会后には例年行っている団体懇親会も行いま

した。ご参加いただいた団体様からは、コロナ
禍における昨年度の活動状況や、今後のFUNN
の将来展望・重点課題に関する質問、FUNNと
団体様との協同イベントのお誘い等が寄せられ
ました。更に、団体様同士で今後のネットワー
ク組織強化に関する意見交換も行うことができ、
とても有意義な時間となりました。今後はこの
ような懇親会を年2回開催し、団体様同士の活
発な意見交換や、FUNNへの要望の聞き取りの
機会として活用できればと思います。今回団体
様から頂いたご意見を元に、これからもNGO
ネットワークとしてのプラットフォーム能力の
向上や、九州地域の国際理解の発展に寄与して
いきます。

【2022年度 NGO福岡ネットワーク通常総会】

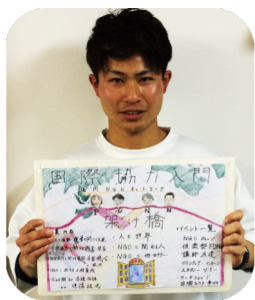
- ・ 2022年5月21日（土）14:00～16:00
- ・ オンライン（Zoom）開催
- ・ 出席：7団体
- ・ 委任：5団体
- ・ 議案
 - 議案1：2021年度活動報告
 - 議案2：2021年度活動計算書
 - 議案3：2022年度事業計画
 - 議案4：2022年度活動予算書
 - 議案5：役員
- ・ 総会后団体懇親会





ボランティア・インターン紹介

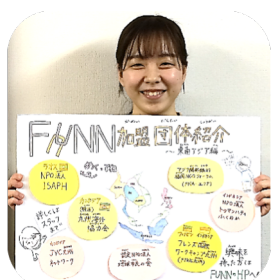
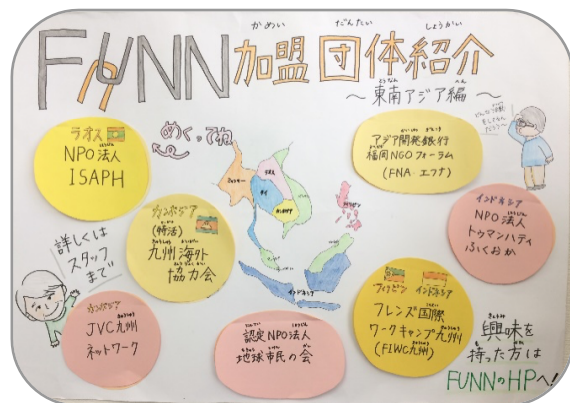
インターンのお二人が
FUNN紹介パネルを作成してくれました！



【インターン】
九州大学法学部 1年
中島 大和 さん

◎FUNNでの思い出は（2022年2月～3月）

FUNNでの活動で印象深いのはオンラインイベント関係です。ファシリテーターや書記を経験しつつ、インターンをしなければ聞く事がなかったであろう、実際に現地で活動している方のお話を聞くことができ、計3回、濃い時間を過ごすことができました。僕には世界で困っている人を直接救うことはできません。でも、身近にいる困っている人に手を貸すことはでき、このような協力の輪を広げていくことが NGOカレッジのテーマである“平和のつくり方”に対する僕なりの答えです。



【インターン】
福岡大学商学部 2年
奥羽 絵理奈 さん

◎FUNNでの思い出は（2022年2月～3月）

中学生のころに国際協力に興味を持ち、今回FUNNでインターンに参加させていただきました。国際協力に興味は持っていたものの、いざ活動してみると知らないことが沢山あったため、スタッフのみなさんに教えていただいたり、調べる機会をいただいたりすることで詳しく知ることができました。このインターンをきっかけに、もっと知りたいことや挑戦したいことが見つかったので、これからも深めていきたいと思います。

【ボランティア】
福岡女子大学国際文理学部 3年
岡本 遥香 さん

昨年の12月からFUNNでボランティアをしており、活動は大学の講義やアルバイトのない日や長期休みに行っています。今年の2月、3月は春季インターンシップの学生さんたちと一緒にNGOカレッジにファシリテーターや書記として参加したり、ESD（持続可能な開発のための教育）など自分が関心のある分野について調べながらFUNNでできそうな活動を考えたりしました。今後は、今はまだアイデア段階のものをより具体的な計画にし、実行していきたいです。

九州地域NGO活動助成金

学校を基点としたコロナに負けないコミュニティ作り

特定非営利活動法人 ジャつど

ラオスは世界でコロナが流行し始めてから約1年後に感染者数が増加をはじめ、2021年の9月以降は都市部のロックダウンが継続しており学校は休校を余儀なくされていました。ラオススタッフは電話で事前に支援校を調査し、校長にニーズを聞き取り、物品の準備をして2022年2月にやっと学校を訪問することができました。この時点では学校は再開しておらず譲渡式のために近隣の子どもたちが待っていてくれました。本来はセミナーを実施して家庭をも巻きこんだ保健衛生指導をしたかったのですが、現況を鑑み学校が再開したときに子供たちが自分でしっかり感染予防をして学校で安全に過ごせるようにスタンド式消毒器（体温も測れる）をはじめ、非接触型の体温計、マスク、石鹸、消毒液などを供与しました。また図書室で静かに読書できるようにラオス民話や絵本など多種類の本を供与し、子供たちは早速本を楽しそうに読んでいました。助成金を有意義に活用することができましたこと感謝申し上げます。



▲ネットに入れた石鹸で手洗いをする
フォンミーネウア小学校の学生たち

西日本国際財団授賞式



西日本国際財団様が、2022年3月9日に九州・沖縄・山口でアジアの発展や国際交流に取り組む団体や個人を表彰する「第23回アジア貢献賞」と「第17回アジア未来大賞」の授賞式を福岡市で開催しました。非常に喜ばしいことに、FUNNの加盟団体からは「トゥマンハティふくおか」様がアジア貢献賞を、「フレンズ国際ワークキャンプ九州」様がアジア未来大賞を受賞しました。トゥマンハティふくおか様は、インドネシアの教育支援や文化紹介に取り組むNPO法人です。フレンズ国際ワークキャンプ九州様は、アジア各地で労働奉仕活動にあたる学生団体です。トゥマンハティふくおか様、フレンズ国際ワークキャンプ九州様、授賞おめでとうございます！



▲トゥマンハティふくおか
代表 弥栄様（中央左）

▶FIWC九州代表（当時）
久保山様



第17回西日本国際財団アジア未
受賞者

フレンズ国際ワークキャンプ九州 (FIWC九州)



FUNN加盟団体活動レポート

過去3ヶ月のFUNN正会員団体の活動を紹介します!!

Bangladesh と手をつなぐ会 『 Bangladesh 料理教室 』



今回は、私にとって2回目の料理教室への参加となりました。今回は、最初から準備に関わることができ、とても嬉しく思いました。あいろん料理室で開催したこの料理教室は、とても賑やかで楽しいものでした。COVID 19のパンデミックの中、対面開催に向けて準備をする不安はありましたが、幸いにも大きな問題もなく3月20日にイベントを開催できました。素晴らしいチームワークで料理をしたり、楽しく食事をしたり、そして最後には一緒に掃除も行いました。子供からお年寄りまで幅広い年齢層の日本人の方々が、私の国の料理に関心を持ってくれてとても嬉しかったです。このようなイベントは単に料理を楽しむだけでなく、

これまで異なる人生を歩んできた人々と知り合い、さらに友達にまでなれるチャンスです。特に今回の料理教室では、今まで Bangladesh に行ったことがない人にとっては、 Bangladesh 料理を味わう機会となりました。たとえどんなに離れていても、食事を通じて異国の文化に馴染んだり体感できます。今回、そのことを学ぶことができとても嬉しいです。最後に、イベントを成功に導いてくれた事務局の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。（タスリン）



▲チキンカレーとピアジュを作りました

▶タスリンさんは九州大学の留学生



FUNN周辺 “おすすめ” イベント情報

○ リモート倶楽部FUNN2022年6月

今回のテーマは『青年海外協力隊としてモザンビークでの経験を踏まえて、「今」を考える』。モザンビークで数学科教員として活動していた宇野智貴さんにお話いただきます。

◎日時：2022年6月11日（土）14時～15時半

◎場所：オンライン(Zoom)

◎申し込み方法：Peatix

◎主催：NGO福岡ネットワーク



○ ウクライナ緊急支援募金のご案内

FUNN正会員団体の福岡YMCA様が、全国のYMCAと協力して「ウクライナ緊急支援募金」を行っています。爆撃地や攻撃を受ける可能性のある居住地域から国内外に避難する人々の支援活動に用います。ご賛同いただける方は、QRコードよりお手続きをお願いいたします。





令和4年度外務省NGO相談員九州ブロック担当を受託しました

FUNNは外務省よりNGO活動環境整備支援事業の「令和4年度外務省NGO相談員」九州ブロック担当を受託しました。令和4年度も今まで培ってきたノウハウやネットワークを活かして多くの国際協力・国際理解に関するお悩みや勉強会のご要望にお答えしていきます。ぜひお気軽にお問合わせください。国際協力のことが気になったらFUNNへ行こう！

お問合せはコチラ



☆ NGO相談員でできること ☆

◎ 国際協力に関する相談対応

国際ボランティアへの参加方法や寄付先のご案内、国際協力分野での就職に関するご相談等、国際協力に関する相談全般承ります。またNGO団体関係者からも団体運営に関する無料相談も承ります。博多駅近くのFUNN事務所にて対面での相談やオンラインを活用したリモート対応も可能です。

◎ 無料の出張講義・イベント出展

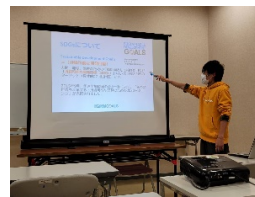
出張サービスでは、教育機関での出張授業や企業・自治体職員向けの研修など様々な場面でご利用頂けます。(対面・オンラインどちらも可) また、九州各地で開催される国際イベントにもブース出展いたします。九州のNGO団体のパネル紹介や、イベントにお越しになった一般市民への国際ボランティアやSDGs等の国際協力全般に関わる質問・相談ブースを設置可能です。



対面での相談



オンライン相談 (Zoom使用)



企業や行政への出前授業



イベントでのブース出展



編集後記

5月21日(土)に2022年度NGO福岡ネットワーク通常総会を開催しました。参加された団体の皆様、ご多忙の中誠にありがとうございました。FUNNはNGOの中間支援組織として、加盟団体様の伴奏支援や組織基盤強化のお役に立てるよう引き続き尽力いたします。よろしくお願いたします。(小原)



正会員団体リスト (19団体)

- * (特活) ISAPH
- * アジア開発銀行福岡NGOフォーラム
- * (特活) アジア女性センター
- * (特活) 九州海外協力協会
- * 債務と貧困を考えるジュビリー九州
- * 佐賀NGOネットワーク
- * JVC九州ネットワーク
- * (特活) じゃっど
- * 認定NPO法人地球市民の会
- * チベットを知る会
- * NPO法人トゥマンハティふくおか
- * ネパール歯科医療協会(ADCN)
- * 芭蕉繊維研究会
- * (特活) バングラデシュと手をつなぐ会
- * PP21ふくおか自由学校
- * 福岡YMCA
- * フレンズ国際ワークキャンプ九州
- * (一社) ミドリゼーションプロジェクト
- * モザンビークのいのちをつなぐ会

NGO福岡ネットワーク **FUNN**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-6-1小森ビル4A 福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」内



: 092-405-9870



: funn@ngofukuoka.net



: https://ngofukuoka.net/

* 営業時間 : 火~土 13:00~18:00 * 日・月・祝・・・休み